

利 用 者 の た め に

この統計書は、農林水産省大臣官房統計部及び北海道農政事務所の機構を通じ実施した「農業経営統計調査（営農類型別経営統計のうち個別経営、農畜産物生産費統計）」の結果を収録したものである。

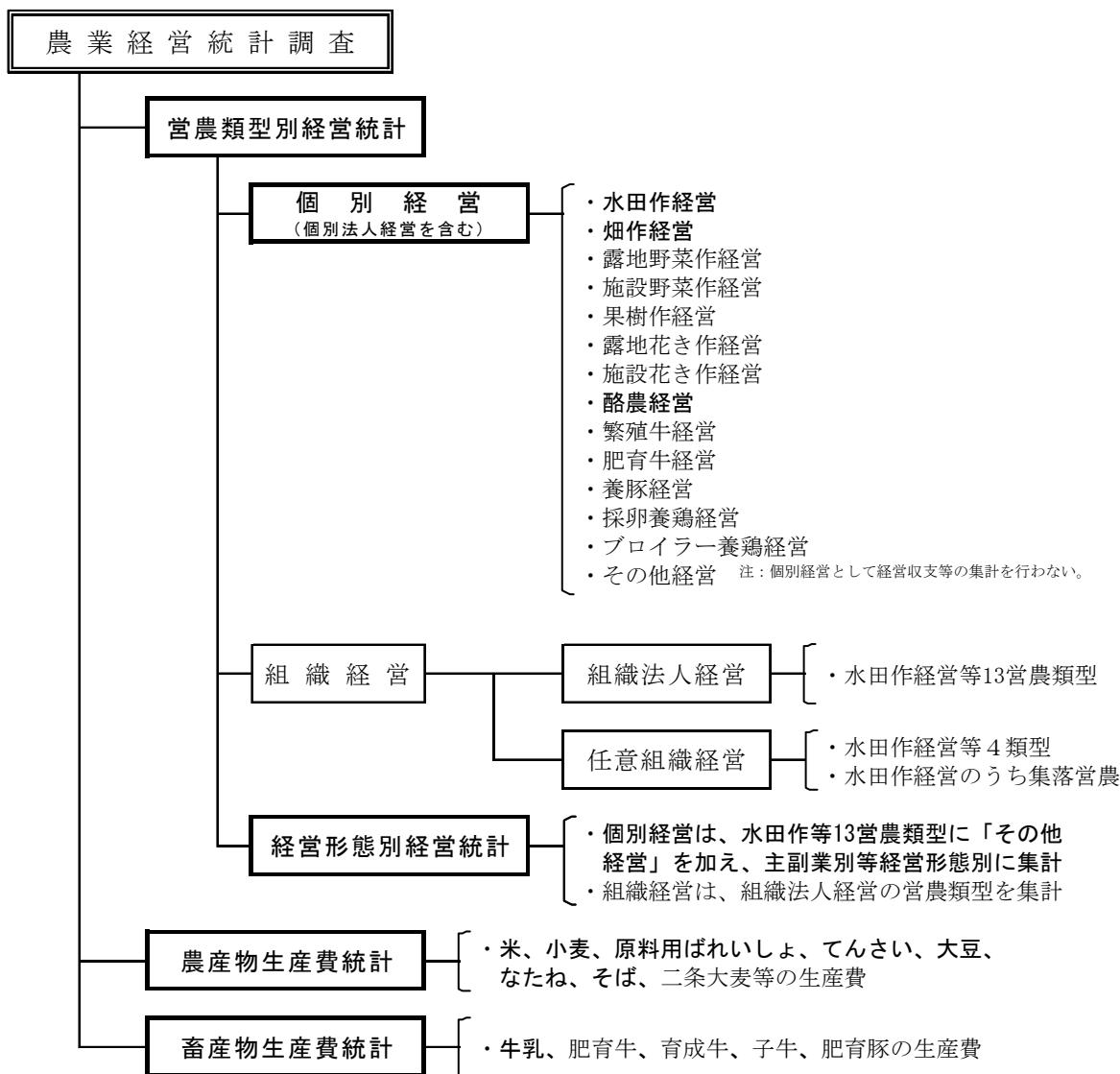
I 農業経営統計調査

1 調査の目的

農業経営体の経営並びに農畜産物の生産費の実態等を明らかにし、農業行政の資料を整備することを目的としている。

2 調査の体系

調査の体系は、下図のとおりである。



※ 太枠及びゴシック体太字の項目を掲載

3 調査対象と調査経営体の選定方法

「2010年世界農林業センサス」結果を基に「営農類型別経営統計」は、5の(1)に定める営農類型の調査対象に該当した農業経営体を営農類型規模別の階層に区分したリストから抽出し、「農産物生産費統計」及び「畜産物生産費統計」は、生産費品目別の調査対象に該当した農業経営体を、作付規模等の階層別に区分したリストから抽出した。

(1) 調査対象

ア 営農類型別経営統計

農業生産物の販売を目的とする経営体

イ 農産物生産費統計

(ア) 米生産費統計

水稻を作付けし、玄米を600kg以上販売する経営体

(イ) 小麦、大豆、原料用ばれいしょ、てんさい生産費統計

調査対象作目を10a以上作付けし、販売する経営体

(ウ) なたね、そば生産費統計

調査対象作目を5a以上作付けし、販売する経営体

ウ 畜産物生産費統計

(ア) 牛乳生産費統計

搾乳牛を1頭以上飼養し、生乳を販売する経営体

(イ) 去勢若齢肥育牛生産費統計

肥育を目的とする去勢若齢和牛を1頭以上飼養し、販売する経営体

(ウ) 乳用雄肥育牛生産費統計

肥育を目的とする乳用雄牛を1頭以上飼養し、販売する経営体

(エ) 交雑種肥育牛生産費統計

肥育を目的とする交雑種牛を1頭以上飼養し、販売する経営体

(オ) 子牛生産費統計

肉用種の繁殖雌牛を2頭以上飼養して子牛を生産し、販売する経営体

(カ) 乳用雄育成牛生産費統計

肥育用もと牛とする目的で育成している乳用雄牛を5頭以上飼養し、販売する経営体

(キ) 交雑種育成牛生産費統計

肥育用もと牛とする目的で育成している交雑種牛を5頭以上飼養し、販売する経営体

(ク) 肥育豚生産費統計

肥育豚を年間20頭以上販売し、肥育用もと豚に占める自家生産子豚の割合が7割以上の経営体

(2) 調査経営体の抽出

ア 営農類型別経営統計

2010年世界農林業センサスによる対象農業経営体を営農類型別、規模階層別に区分した農業経営体リストの経営体を当該営農類型に係る規模区分の指標の値の小さいほうから順に並べた上で、予め設定した規模階層別の標本数で等分し、それぞれの区分から1経営体ずつ無作為に抽出した。

イ 農産物生産費統計

2010年世界農林業センサスによる対象作物販売経営体について、対象作物の作付規模別に対象作物作付規模により昇順に配列したリストを作成し、同一規模階層に属する経営体を標本数で等分し、等分した各区分から1経営体を無作為に抽出した。

ウ 畜産物生産費統計

2010年世界農林業センサスによる対象畜飼養経営体を飼養頭数規模区分別に飼養頭数規模により昇順に並べた上でリストを作成し、飼養頭数規模階層区分別に標本数で等分し、等分した各区分か

ら1経営体を無作為に抽出した。

4 調査方法

農業経営統計調査は、所定の現金出納帳及び作業日誌を調査対象経営体に配付して、毎日の現金収支、家計又は農業生産関連事業を使った生産物、使用した資材量及び農業労働時間などを記録させる自計調査（記帳調査）の方法と、職員が調査経営体の決算書類等を閲覧してその内容を現金出納帳、作業日誌又は経営台帳に転記して行う調査の方法並びに職員が調査経営体の代表者に対して面接する方法による。

5 統計の種類と調査期間

調査結果の集計は、次表に掲げる作成する統計の種類と調査期間及び計算範囲について取りまとめを行った調査経営体であり、調査途中の離農や記帳不能等により調査を中止した経営体を除いている。

また、米生産費統計は、米販売量が600kg以上かつ過去5か年の10a当たり収量のうち、最高及び最低の年を除いた3年間の10a当たり平均収量（以下「5中3平均収量」という。）に対する調査年の増減収率±20%未満の経営体、米以外の農産物生産費統計は、5中3平均収量に対する増減収率±70%未満の経営体を集計対象とした。

なお、小麦生産費は、作付面積に占める田又は畠の作付面積割合が50%を境として田作と畠作の経営体に分けている。

作成する統計の種類と調査期間及び計算範囲

統計の種類	調査期間	計算範囲
営農類型別経営 経営形態別経営	当年1月1日～12月31日	調査期間と同じ
米生産費 原料用ばれいしょ生産費 てんさい生産費 大豆生産費 そば生産費	当年1月1日～12月31日	当該年産の調製終了前1年間
小麦生産費 なたね生産費	前年9月1日～当年8月31日	当該年産の調製終了前1年間
牛乳生産費 肥育豚生産費	当年4月1日～翌年3月31日	調査期間と同じ
去勢若齢肥育牛生産費 乳用雄肥育牛生産費 交雑種肥育牛生産費	当年4月1日～翌年3月31日	肥育用もと牛を導入した時点から肉用として販売した時点までの期間
乳用雄育成牛生産費 交雑種育成牛生産費	当年4月1日～翌年3月31日	育成用もと牛を導入した時点から肥育用もと牛として販売した時点までの期間
子牛生産費	当年4月1日～翌年3月31日	子牛の生産から販売までの期間が対象であり、①その母牛が初産の場合は、初回種付時から子牛販売時までの期間、②その母牛が経産牛の場合は、前回の子牛販売時から今回の子牛販売時までの期間

4 農業経営統計調査

(1) 営農類型別経営統計

営農類型の種類及び分類基準は次のとおりである。

営農類型の種類及び分類基準

営農類型の種類	営農類型の分類基準
水田作経営	・稲、麦類、雑穀、豆類、いも類、工芸農作物の販売収入のうち、水田で作付けした農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
畑作経営	・稲、麦類、雑穀、豆類、いも類、工芸農作物の販売収入のうち、畠で作付けした農業生産物の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
野菜作経営	・野菜の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
・露地野菜作経営	・野菜作経営のうち、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営
・施設野菜作経営	・野菜作経営のうち、露地野菜より施設野菜の販売収入が多い経営
果樹作経営	・果樹の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
花き作経営	・花きの販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
・露地花き作経営	・花き作経営のうち、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営
・施設花き作経営	・花き作経営のうち、露地花きより施設花きの販売収入が多い経営
酪農経営	・酪農の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
肉用牛経営	・肉用牛の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
・繁殖牛経営	・肉用牛経営のうち、肥育牛の飼養頭数より繁殖用雌牛の飼養頭数が多い経営
・肥育牛経営	・肉用牛経営のうち、肥育牛の飼養頭数が繁殖用雌牛の飼養頭数以上である経営
養豚経営	・養豚の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
採卵養鶏経営	・採卵養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
ブロイラー養鶏経営	・ブロイラー養鶏の販売収入が他の営農類型の農業生産物販売収入と比べて最も多い経営
その他経営	・上記の営農類型に分類されない経営

(2) 経営形態別経営統計

営農類型別経営統計（個別経営）は、水田作等13営農類型（北海道は9営農類型）に「その他経営」を加え集計した。

6 調査事項

(1) 営農類型別経営統計及び経営形態別経営統計の調査事項

ただし、個別経営体にあっては、農業経営関与者以外の者に関する現金、預貯金及び借入金等の流動資産並びに農外収支の把握は行わない。また、経営形態別経営統計については、キの部門別割合の把握は行わない。

- ア 個別経営体にあっては世帯員の性別、年齢及び経営主との続柄並びに就業状態及び異動状況、組織経営体にあっては構成員の性別及び世帯の状況
- イ 農業及び農業生産関連事業への投下労働時間
- ウ 経営耕地の田畠別及び所有地借入地別の面積、その他個別経営体にあっては世帯員の使用する土地の面積
- エ 農業経営体の財産に関する次の事項
 - (ア) 土地、建物、自動車、農機具、農業用の永年性植物、動物等の固定資産の面積、数量、取得年次、取得価額、年内異動等

- (イ) 未処分農産物及び農業生産資材の在庫量
- (ウ) 現金、預貯金、積立金、貸付金、有価証券及び売掛未収入金
- (エ) 借入金及び買掛未払金

オ 農産物の種類別生産量及び処分内訳

カ 農業経営体の収入及び支出に関する次の事項

- (ア) 農業収入、農業生産関連事業収入、農外事業収入、財産的収入、資産分割による被贈収入等
- (イ) 農業支出、農業生産関連事業支出、農外事業支出、財産的支出、資産分割による贈与支出、偶発損失等
- (ウ) 個別経営体にあっては、労賃、給料、俸給、年金等の収入、地代・利子収入並びに物件税、公課諸負担等
- キ 農業用財産、農業に関する収入及び支出、農業投下労働時間の部門別割合

(2) 農産物生産費統計の調査事項は次のとおり。

ア 世帯員の性別、年齢、続柄、農業従事状況等

イ 農業用財産に関する次の事項

- (ア) 経営耕地の地目別及び所有地借入地別の面積
- (イ) 調査農作物の作付地の概要
- (ウ) 建物、自動車・農機具及び生産管理機器などの固定資産の所有状況

ウ 調査農産物の品種等栽培に関する事項

エ 調査農産物の生産に必要な土地及びその土地の地代に関する次の事項

- (ア) 調査農産物の所有地借入地別及びほ場別の作付面積
- (イ) 調査農産物の作付地以外で調査農産物の生産に必要な土地の所有地借入地別及び用途別の面積
- (ウ) 小作料及び賃借料

オ 調査農産物の生産及び企画管理のために投下した作業種類別、家族雇用別及び男女別の労働時間

カ 調査農産物の生産のための資材等に関する次の事項

- (ア) 種苗、肥料及びその他の資材の使用量並びにその価額
- (イ) 光熱動力材料及び電力の使用量並びにその価額
- (ウ) 土地改良費用及び水利費
- (エ) 賃借料及び料金（土地の賃借料を除く。）
- (オ) 物件税及び公課諸負担

(カ) 生産管理のための事務用備品等の使用量及び価額並びに研修等の受講料及び交通費等

キ 調査農産物の生産に必要な建物、自動車、農機具及び生産管理機器に関する次の事項

- (ア) 建物の構造、面積、建築年月、取得価額、修繕費用、廃棄・売却価額等
- (イ) 自動車・農機具及び生産管理機器の種類、形式、数量、購入年月、取得価額、修繕費用、廃棄・売却価額等

ク 調査農産物の主産物及び副産物の販売・自家消費別の数量並びにその価額

ケ 調査農産物の生産のための借入金の額及びその支払利息

コ 農業生産組織への参加状況及び稻作作業の受委託状況別面積

(3) 畜産物生産費統計の調査事項は次のとおり。

ア 世帯員の性別、年齢、続柄、農業従事状況等

イ 農業用財産に関する次の事項

- (ア) 経営耕地の地目別及び所有地借入地別の面積
- (イ) 自給牧草（飼料作物）の種類別作付面積
- (ウ) 畜産用地の用途別及び所有地借入地別の面積

6 農業経営統計調査

- (イ) 建物、自動車、農機具、生産管理機器等の固定資産の所有状況
- (オ) 家畜の飼養状況
 - ウ 調査対象畜の飼養、自給牧草の生産に必要な土地及びその土地の地代に関する次の事項
 - (ア) 調査対象畜の飼養に要した土地の所有地借入地別及び用途別の面積
 - (イ) 自給牧草の生産に要した土地の所有地借入地別の作付面積
 - (ウ) 小作料及び賃借料
 - エ 調査対象畜の飼養、自給牧草の生産及び企画管理のために投下した作業種類別、家族雇用別及び男女別の労働時間
 - オ 調査対象畜の飼養、自給牧草の生産のための資材等に関する次の事項
 - (ア) もと畜及び飼料等資材の使用量並びにその価額
 - (イ) 光熱動力材料及び電力の使用量並びにその価額
 - (ウ) 賃借料及び料金（土地の賃借料を除く。）
 - (エ) 物件税及び公課諸負担
 - (オ) 生産管理のための事務用備品等の使用量及び価額並びに研修等の受講料、交通費等
 - カ 調査対象畜の飼養及び自給牧草の生産に必要な建物、自動車、農機具及び生産管理機器並びに搾乳牛等に関する次の事項
 - (ア) 建物の構造、面積、建築年月、取得価額、修繕費用、廃棄・売却価額等
 - (イ) 自動車、農機具、生産管理機器の種類、形式、数量、購入年月、取得価額、修繕費用、廃棄・売却価額等
 - (ウ) 生産手段としての搾乳牛及び繁殖雌牛の購入年月、年齢、購入価額、評価額、売却価額等
 - キ 調査対象畜の主産物及び副産物の販売・自家消費別の数量並びにその価額
 - ク 調査対象畜の生産のための借入金の額及びその支払利息

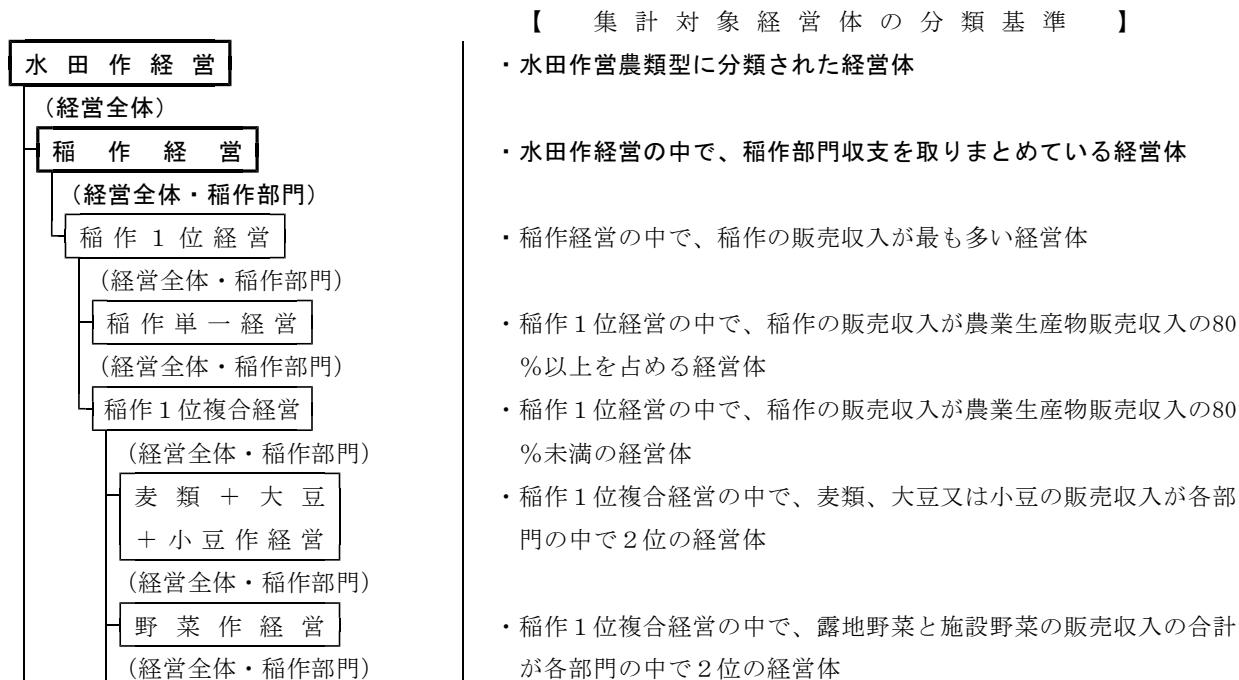
7 統計表の編成

(1) 営農類型別経営統計

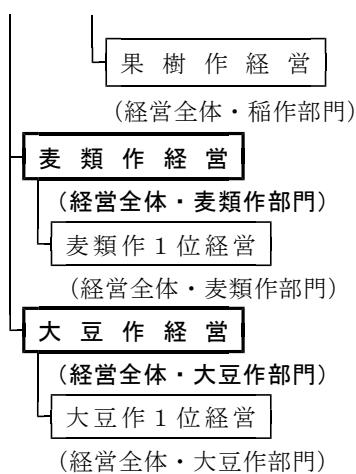
統計表は、各営農類型別に編成し、それぞれの統計の集計内容により区分した。

なお、統計表には、太枠の営農類型（経営）を掲載した。

ア 水田作経営

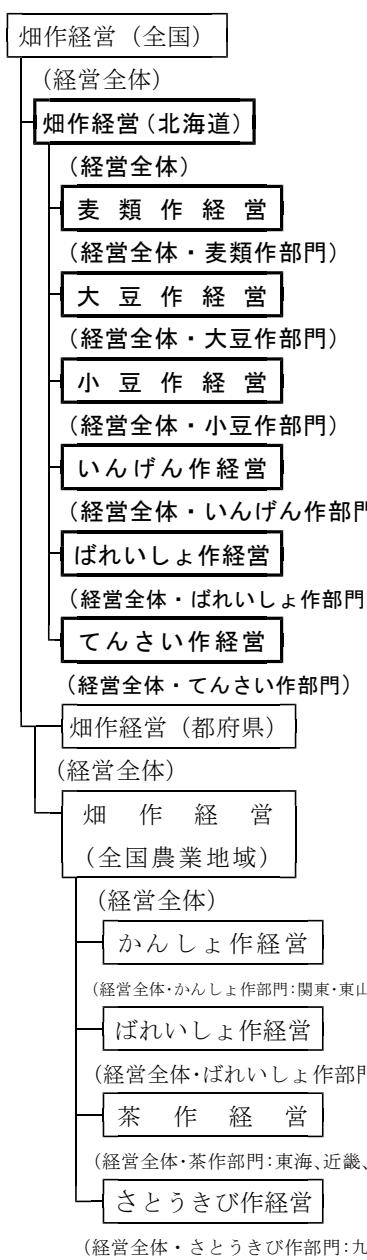


【 集計対象経営体の分類基準 】



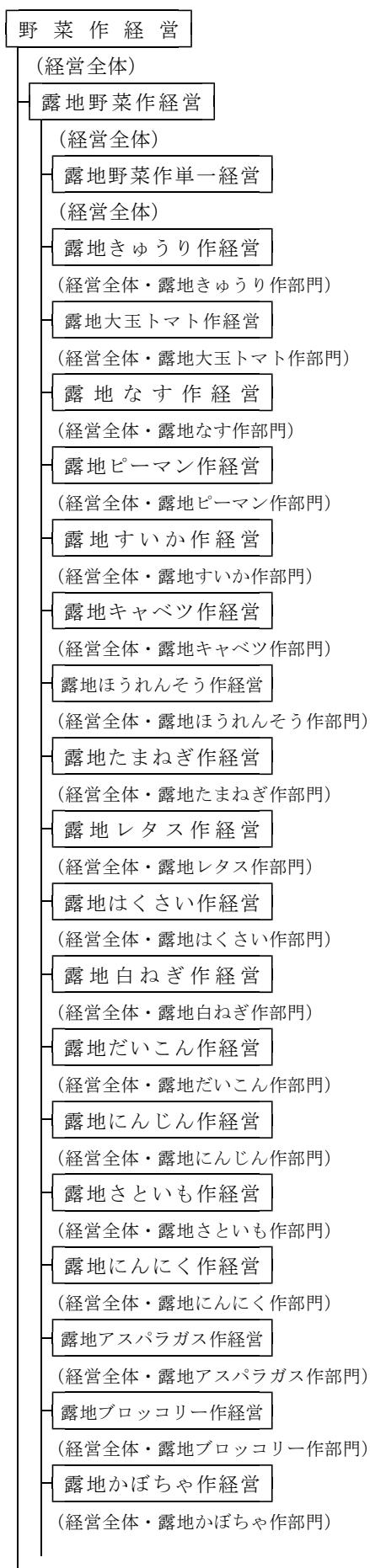
- ・稲作1位複合経営の中で、果樹の販売収入が各部門の中で2位の経営体
- ・水田作経営の中で、麦類作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・麦類作経営の中で、麦類の販売収入が最も多い経営体
- ・水田作経営の中で、大豆作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・大豆作経営の中で、大豆の販売収入が最も多い経営体

イ 畑作経営



- ・畠作営農類型に分類された経営体
- ・畠作営農類型に分類された北海道の経営体
- ・畠作経営の中で、麦類作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、大豆作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、小豆作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、いんげん作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、ばれいしょ作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、てんさい作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作営農類型に分類された都府県の経営体
- ・畠作営農類型に分類された全国農業地域の経営体
- ・畠作経営の中で、かんしょ作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、ばれいしょ作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、茶作部門収支を取りまとめてる経営体
- ・畠作経営の中で、さとうきび作部門収支を取りまとめてる経営

ウ 野菜作経営



【集計対象経営体の分類基準】

- ・野菜作営農類型に分類された経営体
- ・野菜作経営の中で、露地野菜の販売収入が施設野菜の販売収入以上である経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地野菜の販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地きゅうり作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地大玉トマト作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地なす作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地ピーマン作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地すいか作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地キャベツ作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地ほうれんそう作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地たまねぎ作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地レタス作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地はくさい作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地白ねぎ作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地だいこん作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地にんじん作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地さといも作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地にんにく作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地アスパラガス作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地プロッコリー作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地かぼちゃ作部門収支を取りまとめている経営体

露地スイートコーン作経営 (経営全体・露地かぼちゃ作部門)
露地やまのいも作経営 (経営全体・露地やまのいも作部門)
施設野菜作経営
(経営全体)
施設野菜作单一経営 (経営全体)
施設きゅうり作経営 (経営全体・施設きゅうり作部門)
施設大玉トマト作経営 (経営全体・施設大玉トマト作部門)
施設ミニトマト作経営 (経営全体・施設ミニトマト作部門)
施設なす作経営 (経営全体・施設なす作部門)
施設ピーマン作経営 (経営全体・施設ピーマン作部門)
施設いちご作経営 (経営全体・施設いちご作部門)
施設メロン作経営 (経営全体・施設メロン作部門)

【 集計対象経営体の分類基準 】

- ・露地野菜作経営の中で、露地スイートコーン作部門収支を取りまとめている経営体
- ・露地野菜作経営の中で、露地やまのいも作部門収支を取りまとめている経営体
- ・野菜作経営の中で、施設野菜の販売収入が露地野菜の販売収入以上である経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設野菜の販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設きゅうり作部門収支を取りまとめている経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設大玉トマト作部門収支を取りまとめている経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設ミニトマト作部門収支を取りまとめている経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設なす作部門収支を取りまとめている経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設ピーマン作部門収支を取りまとめている経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設いちご作部門収支を取りまとめている経営体
- ・施設野菜作経営の中で、施設メロン作部門収支を取りまとめている経営体

エ 果樹作経営

果樹作経営
(経営全体)
果樹作単一経営 (経営全体)
りんご作経営 (経営全体・りんご作部門)
露地温州みかん作経営 (経営全体・露地温州みかん作部門)
施設温州みかん作経営 (経営全体・施設温州みかん作部門)
露地ぶどう作経営 (経営全体・露地ぶどう作部門)
施設ぶどう作経営 (経営全体・施設ぶどう作部門)
もも作経営 (経営全体・もも作経営)
かき作経営 (経営全体・かき作部門)

【 集計対象経営体の分類基準 】

- ・果樹作営農類型に分類された経営体
- ・果樹作経営の中で、果樹の販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・果樹作経営の中で、りんご作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、露地温州みかん作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、施設温州みかん作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、露地ぶどう作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、施設ぶどう作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、もも作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、かき作部門収支を取りまとめている経営体

【 集計対象経営体の分類基準 】

うめ作経営 (経営全体・もも作経営)
おうとう作経営 (経営全体・かき作部門)
キウイフルーツ作経営 (経営全体・うめ作部門)
すもも作経営 (経営全体・すもも作部門)

- ・果樹作経営の中で、うめ作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、おうとう作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、キウイフルーツ作部門収支を取りまとめている経営体
- ・果樹作経営の中で、すもも作部門収支を取りまとめている経営体

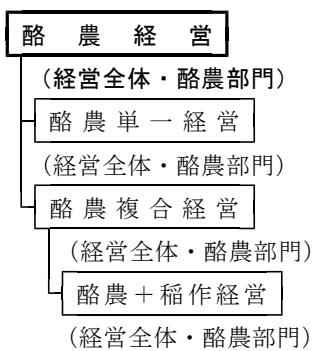
オ 花き作経営

花き作経営 (経営全体)
露地花き作経営 (経営全体)
切り花作経営 (経営全体)
露地花き作単一経営 (経営全体)
露地切り花きく作経営 (経営全体・露地切り花きく作部門)
施設花き作経営 (経営全体)
切り花作経営 (経営全体)
鉢物作経営 (経営全体)
施設花き作単一経営 (経営全体)
施設切り花きく作経営 (経営全体・施設切り花きく作部門)
施設切り花ばら作経営 (経営全体・施設切り花ばら作部門)

【 集計対象経営体の分類基準 】

- ・花き作農類型に分類された経営体
- ・花き作経営の中で、露地花きの販売収入が施設花きの販売収入以上である経営体
- ・露地花き作経営の中で、露地花きの販売収入のうち、切り花の販売収入が最も多い経営体
- ・露地花き作経営の中で、露地花きの販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・露地花き作経営の中で、露地切り花きく作部門収支を取りまとめている経営体
- ・花き作経営の中で、施設花きの販売収入が露地花きの販売収入より多い経営体
- ・施設花き作経営の中で、施設花きの販売収入のうち、切り花の販売収入が最も多い経営体
- ・施設花き作経営の中で、施設花きの販売収入のうち、鉢物の販売収入が最も多い経営体
- ・施設花き作経営の中で、施設花き販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・施設花き経営の中で、施設切り花きく作部門収支を取りまとめている経営体
- ・施設花き経営の中で、施設切り花ばら作部門収支を取りまとめている経営体

カ 酪農経営

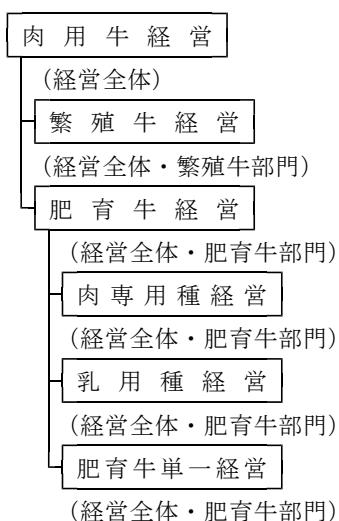


【集計対象経営体の分類基準】

・酪農営農類型に分類された経営体

- ・酪農経営の中で、酪農の販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・酪農経営の中で、酪農の販売収入が農業生産物販売収入の80%未満の経営体
- ・酪農複合経営の中で、稻作の販売収入が各部門の中で2位の経営体

キ 肉用牛経営

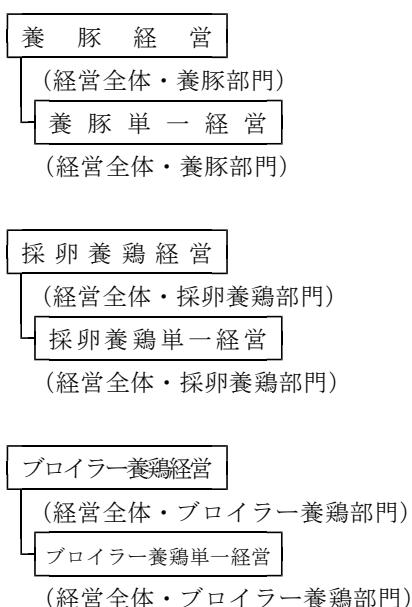


【集計対象経営体の分類基準】

・肉用牛営農類型に分類された経営体

- ・肉用牛経営の中で、肥育牛の飼養頭数より繁殖用雌牛の飼養頭数が多い経営体
- ・肉用牛経営の中で、繁殖用雌牛の飼養頭数より肥育牛の飼養頭数が多い経営体
- ・肥育牛経営の中で、肉専用種の販売収入が乳用種の販売収入以上である経営体
- ・肥育牛経営の中で、乳用種の販売収入が肉専用種の販売収入よりも多い経営体
- ・肥育牛経営の中で、肥育牛の販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体

ク 養豚、採卵養鶏及びプロイラー養鶏経営



【集計対象経営体の分類基準】

・養豚営農類型に分類された経営体

- ・養豚経営の中で、養豚の販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・採卵養鶏営農類型に分類された経営体
- ・採卵養鶏経営の中で、採卵養鶏の販売収入が農業生産物販売収入の80%以上を占める経営体
- ・プロイラー養鶏営農類型に分類された経営体
- ・プロイラー養鶏経営の中で、プロイラー養鶏の販売収入が農業販売収入の80%以上を占める経営体